

失敗ケースに学ぶ!

現場の採用力パワーアップ講座

Lecture 10 職場環境のPR

- ...
- Lecture 4 スキルより価値観の合致が大事
 - Lecture 5 多様性とインクルージョンの推進
 - Lecture 6 求職者視点で求人原稿を作成
 - Lecture 7 競合他社を調べる
 - Lecture 8 求める人物像を明確にする
 - Lecture 9 採用ブランディングの強化
 - Lecture 10 職場環境のPR
 - Lecture 11 面接前後の重要事項
 - Lecture 12 効果的な面接技術をマスターする

伝える工夫が不足しがち

近年、仕事探しをする人たちにとって、職場環境が良いかどうかはとても重要なポイントになっています。ところが、企業が働き方改革を進めたり職場環境を整えても、それを外部に伝えきれていないケースが多いようです。このような状況を見ると、「せっかくの努力が採用活動で活かされていない」と感じる場合があります。

今回の事例では、実際に良好な職場環境が整っているにもかかわらず、それを求職者に伝えられていないために、採用のチャンスを逃してしまっているケースを見ていきます。

ケース：良好な職場環境をPRしていない事例

ある中小企業では、社員同士のコミュニケーションが良好で、育児支援制度などや働きやすい労働環境も整備されていました。しかし、この魅力的なポイントを求人票や企業のホームページ、SNSなどで外部に積極的に発信していませんでした。その結果、求職者に「この企業で働きたい」と思わせる情報が伝わらず、応募者が集まらない状況になっていました。さらに、他社との差別化ができず、優秀な人材の確保が難航し

てしまいました。職場環境が整っているという強みが、採用活動において十分に活かされていなかったことが大きな課題です。

改善策

良好な職場環境は、企業の魅力を高める大切な要素です。しかし、それを外部に発信しなければ「知られざる魅力」のままで終わってしまい、採用競争で有利に働きません。このような事態を避けるために、職場環境を効果的にPRする方法について考えることが重要です。

そこでおすすめしたいのが、第三者機関による認定制度の活用です。自社で「当社は働きやすい環境です」と伝えても、応募者にとっては信憑性が薄い場合があります。しかし、信頼性の高い第三者機関から認定を受ければ、応募者からの信頼を得やすくなります。

今回は、企業の職場環境の良さを外部に伝える際に役立つ、おすすめの認定制度を紹介します。この機会に、自社の魅力を客観的に証明し、採用活動に活かしてみませんか？

【おすすめの認定制度】

①くるみん認定

育児支援に取り組む企業を厚生労働省が認定する制度です。子育て世代が働きやすい環境を提供し

ていることを示せます。より高い基準を満たした企業には「プラチナくるみん」という上位認定が授与されます。

②えるぼし認定

女性活躍推進の取り組みが基準を満たした企業を厚生労働省が認定する制度です。働く女性にとって魅力的な企業であることをアピールできます。「プラチナえるぼし」という上位認定もあり、さらなる信頼性を得ることが可能です。

③ユースエール認定

若者の雇用管理が優れている企業を対象にした認定制度です。特に新卒や若年層の採用に効果的で、若い世代に働きやすい職場であることを伝えられます。

④健康経営優良法人

社員の健康管理を重視している企業に与えられる認定です。社員の働きやすさや健康に配慮した姿勢をアピールすることで、魅力的な職場イメージを伝えることができます。

⑤ホワイト企業認定

企業のホワイト化を総合的に評価する国内唯一の認定制度です。「ビジネスモデル/生産性」「柔軟な働き方」「健康経営」「人材育成/生きがい」「ダイバーシティ&インクルージョン」「リスクマネジメント」「労働法遵守」の7つの指標を基に認定されます。幅広い



■ 山田 真由子 (やまだ まゆこ) 山田真由子社会保険労務士事務所 代表

【誰もが輝く職場づくりをサポートする専門家】社労士としての法的な視点だけではなく、キャリアや心理の視点を併せ持ち、統合的な観点から、クライアントの本当の問題をいち早く見抜くことをモットーとしている。著書に『外国人労働者の雇い方 完全マニュアル』『会社で泣き寝入りしないハラスメント防衛マニュアル 部長、それってパワハラですよ』『すぐに使える！ はじめて上司の対応ツール』がある。

HP : <https://officestarccompass.com/>

公式メルマガ : <https://www.reservestock.jp/subscribe/221393>

対象者に対して、自社の魅力を効果的に伝えることが可能です。

ホワイト企業認定取得企業の事例

社会福祉法人光養会の澤和記氏は、ホワイト企業認定を取得した後、採用活動に大きな変化があったと語ります。

「ホワイト企業認定を取得したことで、外部の事業者から反響がありました。また、面接を受けに来た方からは『しっかりした仕組みが整っているところで働きたいと思って応募しました』という嬉しい声をいただきました。さらに、利用者様やその家族様にも安心感を与え、『体制が整っていると安心して施設の利用ができる』という評価をいただけました。職員にとってプラスになることが、利用者様にとってもプラスになるという理念が形になり、とても嬉しく感じています」

認定制度の活用は、企業の魅力を高めるだけでなく、応募者や利用者からの信頼を得る大きなきっかけになります。ぜひ自社のPRに取り入れてみてください。

人事としてすべきこと

第三者機関の認定を効果的に活用するために、人事として以下の取り組みを行うことが重要です。

1 求人媒体や会社ホームページに認定情報を掲載



ホワイト企業認定証 (社会福祉法人光養会の澤和記氏)

認定マークや取得内容を求人票や会社ホームページに記載し、求職者に分かりやすくアピールします。これにより、企業が提供する良好な職場環境を視覚的かつ直感的に伝えられます。

2 SNSやパンフレットを活用した広報

SNSや会社説明会などの場で、認定取得の背景や取り組みについて紹介します。求職者に対して、企業がどのような努力を重ねて認定を取得したのかを具体的に伝えることで、誠実な印象を与えることができます。

3 従業員の声を交えたストーリー性のある発信

認定制度の活用が従業員にどのようなメリットをもたらしているかを具体的なエピソードとして発信します。例えば、働きやすくな

った職場環境や健康への配慮が従業員の満足度をどのように向上させたかなどを伝えることで、求職者の共感を得られます。

企業の職場環境を整えるだけでは、採用競争において十分ではありません。求職者にその魅力を伝えることが重要です。良好な職場環境を効果的にPRするためには、第三者機関の認定制度を活用し、信頼性を高めることが有効です。認定情報を求人媒体やSNS、会社ホームページに掲載し、求職者の関心を引く工夫をしましょう。また、前向きな従業員の声を交えたストーリー性のある発信をすることで、よりリアルな職場の魅力を伝えられます。企業の強みを最大限に活かし、採用力向上を目指しましょう。